

# 令和3年度 全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果について

桶川市立加納中学校

## はじめにお読みください。

<調査の結果をご覧になる方へ>

各小・中学校では、全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果を、一つの資料として児童生徒一人一人の学習状況と、学校全体の学習への取組状況等を把握しています。また、学力の経年変化等、学校全体で情報を共有するとともに、調査結果の分析を通して自校の取組の成果と課題を明らかにしています。さらに、その分析に基づき、課題解決のための「学力向上プラン」を点検し、児童生徒の学力向上に係る取組の改善を図っております。



今後、成果を上げたと考えられる取組を校内でも共有し、さらなる児童生徒一人一人の学力向上に努めてまいります。

また、調査の結果とその分析、学力向上に係る取組を、保護者及び地域の皆様にお知らせし、情報を共有することを通して、学校の状況をより深く知っていただき、家庭での学習にも生かしていただくことが、児童生徒の学力向上につながると考えます。

調査の結果をお知らせするにあたり、本結果をご覧になる方々には、以下の点にご留意くださいますようお願いいたします。

- (1) 各調査の目的等について、ご理解くださるようお願いいたします。
- (2) 埼玉県学力・学習状況調査は、特に児童の伸びを見ることができる調査となっております。平均正答率等の数値だけではなく、学校で分析した結果や学力向上プランをはじめとする学校の取組とあわせてご覧ください。
- (3) 本調査で測れるのは、①調査対象の教科等学力の特定の一部分であること、②学校における教育活動の一側面であることをご理解ください。

## <全国学力・学習状況調査の概要>

※「令和3年度 全国学力・学習状況調査に関する実施要領」(文部科学省)より抜粋

### 1 調査の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2 調査対象

中学校第3学年 原則として全生徒

### 3 調査実施日

令和3年5月27日(木)

#### 4 調査の内容

教科に関する調査 (国語、数学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校調査は、国語及び算数とし、中学校調査は、国語、数学及び英語とする。</li> <li>・ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等</li> <li>② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容</li> </ul> </li> <li>・ 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、国語及び数学においては、記述式の問題を一定割合で導入する。</li> </ul>	
	<b>【中学校 国語・数学 各50分】</b>	
生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査	<b>児童生徒に対する調査</b>	<b>学校に対する調査</b>
	学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 将来の夢や目標の有無、起床・就寝時間、部活動の参加状況、ICTの利用状況、読書時間、家庭学習の状況 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 学力向上に向けた取組、指導方法の工夫、ICT環境整備、教員研修、家庭・地域との連携の状況など
<b>【20分程度】</b>		

## 本校の調査結果の概況

### 中学校

＜教科に関する調査＞            は全国平均正答率を上回ったもの

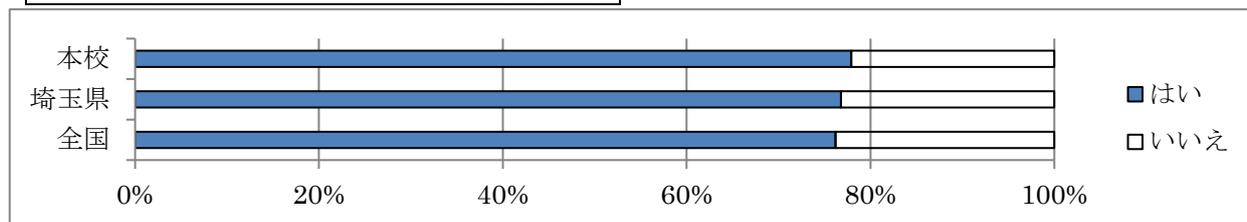
国語				
学習指導要領の領域等	設問数	本校平均正答率 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)
話すこと・聞くこと	3	80.8	79.8	79.8
書くこと	2	55.9	56.7	57.1
読むこと	4	47.0	48.2	48.5
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	4	74.8	75.8	75.1

数学				
学習指導要領の領域	設問数	本校平均正答率 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)
数と式	5	58.8	64.3	64.9
図形	4	51.7	52.0	51.4
関数	3	53.4	55.5	56.4
資料の活用	4	49.2	53.2	53.8

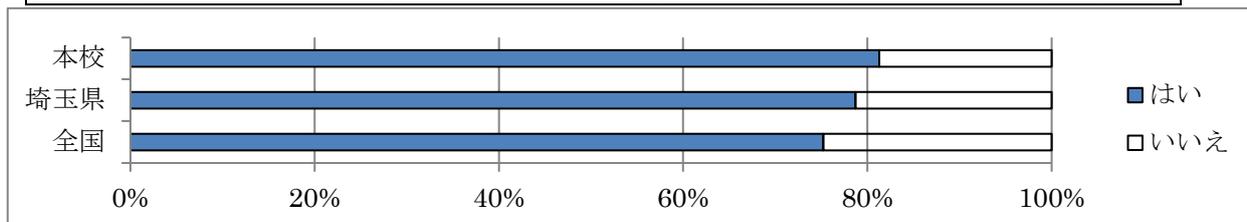
＜生徒への質問紙調査＞（主なものをグラフで表示）

はい…そう思う、どちらかといえばそう思う  
 いいえ…そう思わない、どちらかといえばそう思わない

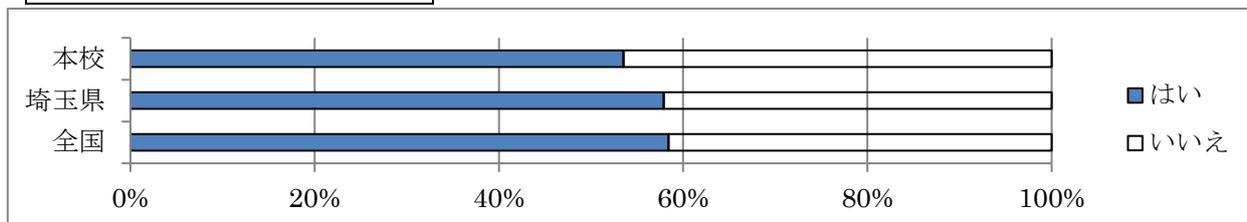
自分には良いところがあると思いますか。



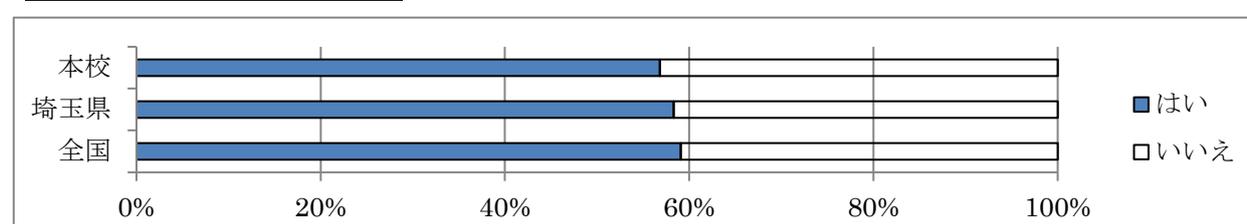
自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか。



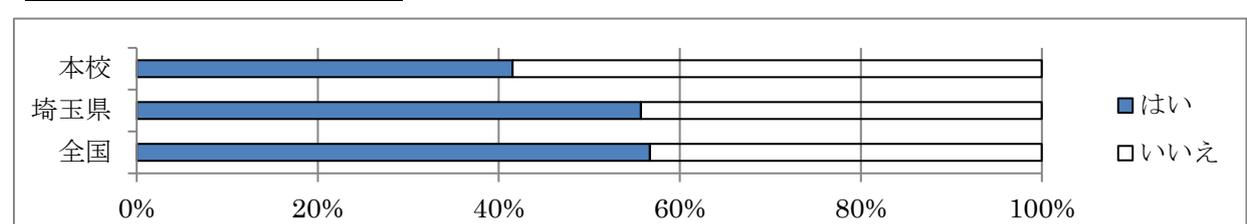
国語の勉強は好きですか。



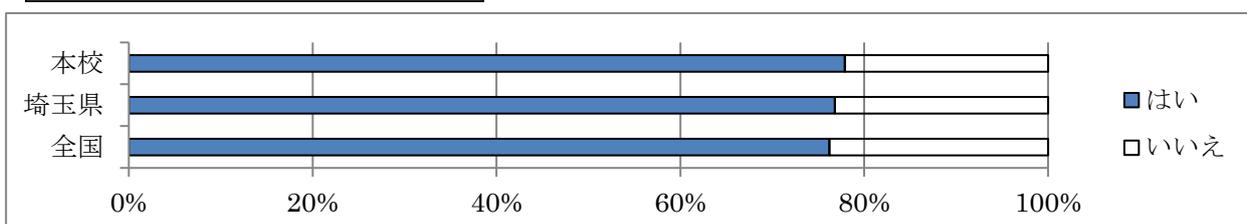
数学の勉強は好きですか。



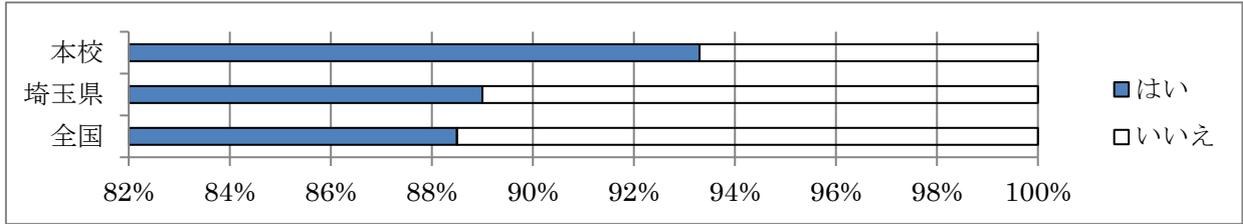
英語の勉強は好きですか。



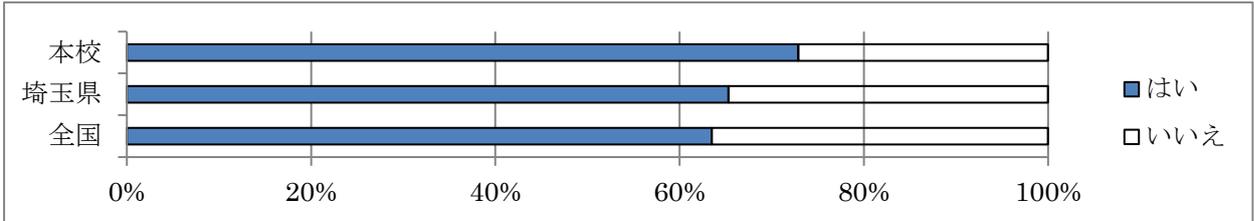
将来の夢や目標を持っていますか。



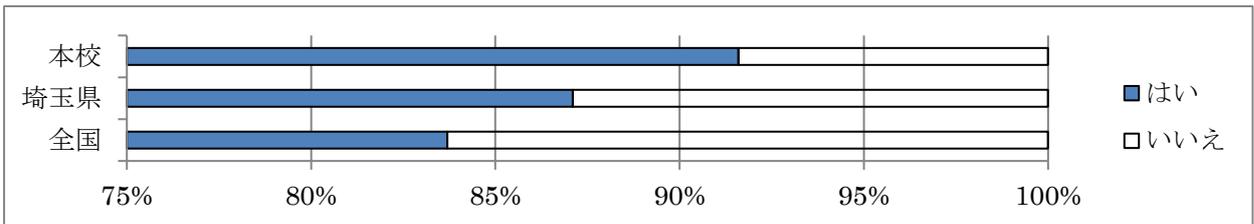
人が困っているときは、進んで助けていますか。



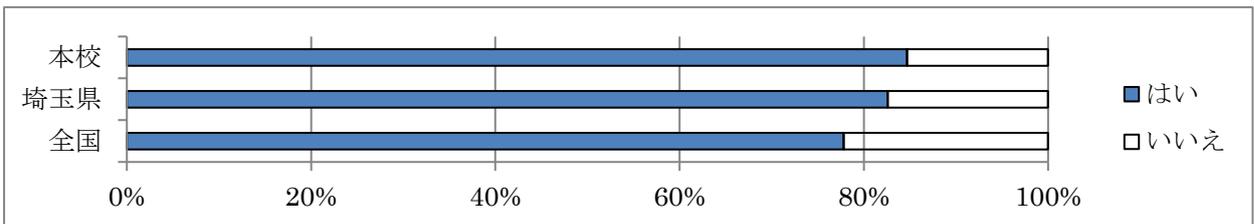
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。(学校の授業の予習や復習を含む)



1, 2年生の時に受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え(自分と同じところや違うところ)を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか。



学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか。



## 本校の調査結果の分析・考察

### <国 語>

#### 【領域別】

本校正答率は「話すこと・聞くこと」の領域が、県・全国平均正答率を上回りました。授業においてグループワークなどで「自分の意見を積極的に発信すること」を意識させたことが要因だと思われます。しかし、「書くこと」、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が1ポイントほど下回っており、学習習慣を定着させながら国語に対する興味関心を高めることで、言語環境を整えていくことが必要です。

#### 【問題（例）】

問題例 3四 「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているかや、そのような接し方をどう思うかを書く。

正答 1

#### <分析>

文章のなかで主人公が登場人物をどのように評価しているかを文章の一部を参考にして考える問題でした。難易度の高い問題で、25%程度の正答率でしたが、県や全国と比較すると5ポイントほど高くなりました。普段の授業でも、自分の意見を持つことに自信をもって取り組ませていたことが要因と考えられます。

#### 【問題（例）】

問題例 2一 意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する。 正答 1

#### <分析>

意見文を読み、下書きの訂正の理由を二つ答える問題でした。17%ほどの正答率で、県と比較すると5ポイントほど、全国と比較すると8ポイントほど低い結果でした。普段の授業では、ただ書くだけで推敲することができなかった生徒が多かったことが要因と考えられます。

### <数 学>

#### 【領域別】

本校の正答率は、「図形」領域において全国平均を上回ったが残りの3領域においては県・全国平均正答率を下回りました。特に、「数と式」領域については、県及び全国の正答率から5ポイント以上下回りました。数学的な考え方の定着に向けて、基礎・基本の徹底と充実を含め、基礎知識の理解を深める授業を展開していく必要があります。

#### 【問題（例）】

問題例  
中心角 $60^\circ$ の扇形の弧の長さについて正しいものを選ぶ

正答 オ

#### <分析>

この問題は、全国平均よりも正答率が2%上回った。扇形の中心角が大きくなると弧の長さもそれにともない大きくなることや、扇形の中心角を使って弧の長さを求める方法を理解していることがわかる。

授業内での小テスト等で定着していったことがうかがえる。公式を覚えそれを活用して問題を解決することが得意だと考えられる。

#### 【問題（例）】

問題例  
文章を読み、そこから数量関係を読み取り一元一次方程式で表す問題

正答

$$2x+800=4x+500 \text{ 又は } y=2x+800, y=4x+500$$

#### <分析>

この問題は、全国平均よりも正答率が10%下回った。文章を読み解く力が弱いと考える。文章問題に対する苦手意識が強いことも要因としてあげられる。文章通りに式を作り、等しい数量関係を見つけて「=」でつなぐという「文章を式化する手順」を教師が手本となって一緒にやり、類題を繰り返し練習させることで習得させていきたい。

<英 語> ※令和3年度は、実施されませんでした。

【領域別】	
【問題（例）】	【問題（例）】
問題例 正答	問題例 正答

<質問紙調査から>

<p>【質問番号 17】</p> <p>家で自分で計画を立てて勉強している。</p> <table border="1"> <caption>質問番号 17の調査結果</caption> <thead> <tr> <th>調査対象</th> <th>はい (%)</th> <th>いいえ (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本校</td> <td>75</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>埼玉県</td> <td>65</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>65</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;分析&gt;</p> <p>「主体的な学習態度の育成」を目指した授業を行っている中で、「家で自分で計画を立てて勉強している」と答えた生徒は全国や埼玉県と比較すると高い数値になった。一昨年の調査と比較しても本校の数値が高くなっており、授業や補修等で学習課題に対して目標を立てて取り組む生徒がさらに増えてきていると考えられる。自分の学習状況を把握し、目標に向けて計画的に学習する習慣づけをこれからも行っていく予定です。</p>	調査対象	はい (%)	いいえ (%)	本校	75	25	埼玉県	65	35	全国	65	35	<p>【質問番号 31】</p> <p>1, 2年の時に受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか。</p> <table border="1"> <caption>質問番号 31の調査結果</caption> <thead> <tr> <th>調査対象</th> <th>はい (%)</th> <th>いいえ (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本校</td> <td>92</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>埼玉県</td> <td>87</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>83</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;分析&gt;</p> <p>「対話を通してよりよい生き方を考えることができる生徒の育成」を目指して道徳の授業研究に取り組み2年目となるが、その成果が現れてきたと考えられる。全国や埼玉県と比較しても非常に高い数値となっており、「相手の考えを最後まで聞こう」「自分の考えをしっかりと伝えよう」という意識が多くの生徒に根付いてきたと思われる。『主体的・対話的で深い学び』の実現に向け、今後も授業改善に取り組んでいきます。</p>	調査対象	はい (%)	いいえ (%)	本校	92	8	埼玉県	87	13	全国	83	17
調査対象	はい (%)	いいえ (%)																							
本校	75	25																							
埼玉県	65	35																							
全国	65	35																							
調査対象	はい (%)	いいえ (%)																							
本校	92	8																							
埼玉県	87	13																							
全国	83	17																							

## <埼玉県学力・学習状況調査の概要>



※「令和3年度埼玉県学力・学習状況調査（調査の概要）」（埼玉県教育委員会より抜粋）

### 1 調査の目的

本県の児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

参考：[【埼玉県学力・学習状況調査】埼玉県教育委員会ホームページ（新規ウィンドウを開きます）](https://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/gakutyou/20150605.html)

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/gakutyou/20150605.html>

### 2 調査対象

中学校第1・2・3学年 原則として全生徒

### 3 調査実施日

令和3年5月12日（水）

### 4 調査の内容

#### （1）教科に関する調査

中学校第1学年 国語、数学

中学校第2学年及び第3学年 国語、数学、英語

※ 学習指導要領に示された内容のうち調査する各学年の前の学年までの内容

#### （2）質問紙調査

学習意欲、学習方法及び生活習慣等に関する事項

## 本校の調査結果の概況

<教科に関する調査>  は県平均正答率を上回ったもの

※学力の伸びた生徒の割合…前年度から学力が伸びた生徒の全体に対する割合

↑↑↑↑↑=80%以上、↑↑↑↑=70%以上80%未満、↑↑↑=60%以上70%未満、↑↑=50%以上60%未満、↑=50%未満

国語	第1学年			第2学年			第3学年		
	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率
言葉の特徴や使い方	13	64.4	64.8	/	/	/	/	/	/
情報の扱い方、我が国の言語文化	5	48.8	52.2	/	/	/	/	/	/
話すこと・聞くこと・書くこと	4	50.6	53.5	4	57.9	67.3	4	46.6	48.7
読むこと	8	65.9	65.3	9	55.3	58.3	9	79.3	81.7
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	/	/	/	17	59.0	64.7	17	63.9	65.4
※学力の伸びた生徒の割合	/	↑↑↑	↑↑↑	/	↑↑	↑↑	/	↑↑↑	↑↑↑

数学 (内容は算数)	第1学年		
	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率
数と計算	12	61.8	64.1
図形	8	53.2	55.2
変化と関係	6	51.5	53.3
データの活用	6	60.6	61.6
※学力の伸びた生徒の割合	/	↑↑↑↑	↑↑↑↑

数学	第2学年			第3学年		
	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率
数と式	12	53.2	60.9	12	63.5	63.3
図形	6	46.3	54.8	7	65.5	63.8
関数	8	49.8	55.5	7	53.4	53.6
資料の活用	6	55.9	64.8	6	48.1	46.4
※学力の伸びた生徒の割合	/	↑↑↑↑	↑↑↑↑	/	↑↑↑	↑↑↑

英語	第2学年			第3学年		
	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率
聞くこと	10	58.4	64.6	10	55.5	61.0
読むこと	18	59.9	65.2	18	55.2	60.2
書くこと	7	47.9	53.2	7	48.0	57.7
※学力の伸びた生徒の割合	/	/	/	/	↑↑↑↑	↑↑↑↑

＜生徒への質問紙調査＞（主な結果：「規律ある態度」に関する項目の結果）

※ 達成率：「できる」「よくできる」「だいたいできる」の合計）と回答した割合

上段：本校の達成率、下段：県の達成率、          は80%以上 (％)

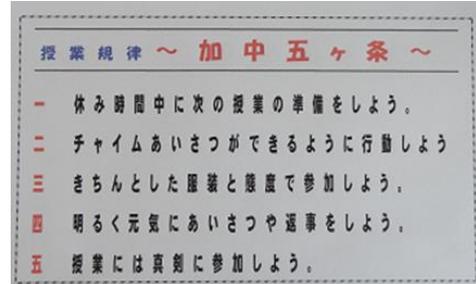
内容	項目	第1学年	第2学年	第3学年	
○けじめある生活ができる	1 時刻を守る				
	① 登校時刻	98.4 97.9	94.2 96.7	94.0 96.7	
	② 授業開始時刻	92.7 96.9	95.0 97.6	100.0 98.0	
	2 身の回りの整理整頓をする				
	③ 靴そろえ	88.6 89.9	89.2 91.0	94.8 92.5	
	④ 整理整頓	78.9 76.7	81.3 78.6	85.3 80.5	
	○礼儀正しく人と接することができる	3 進んであいさつや返事をする			
		⑤ あいさつ	84.6 82.8	83.5 82.6	87.9 84.2
⑥ 返事		89.4 87.8	89.2 87.4	90.5 89.6	
4 ていねいな言葉づかいを身に付ける					
⑦ ていねいな言葉づかい		87.8 90.4	89.2 91.2	99.1 93.7	
⑧ やさしい言葉づかい		82.9 87.3	84.2 87.4	94.0 90.3	
○約束やきまりを守ることができる		5 学習のきまりを守る			
		⑨ 学習準備	91.1 91.5	87.8 91.8	96.6 93.7
	⑩ 話を聞き発表する	79.7 76.1	73.4 73.8	87.9 76.7	
	6 生活のきまりを守る				
	⑪ 集団の場での態度	88.6 92.1	92.1 93.2	98.3 95.5	
	⑫ 掃除・美化活動	79.7 86.4	84.9 85.3	91.4 86.5	

## 本校の学力向上の取組

### 授業における取組

#### ☆1 授業規律の明確化

- (1) 教師と生徒が共通して「チャイムあいさつ」(チャイムで着席ではなく、チャイムで授業が開始される)というキーワードで実践しています。そして各学年が授業の3分前着席に取り組んでいます。
- (2) 『加中五ヶ条』を作成し、授業規律に取り組んでいます。



#### ☆2 加納中型授業スタイルの確立

- (1) 各教科で授業の目標やねらいを明確化し、つながりのある授業を行うことで、生徒が授業で学ぶ内容について見通しをもたせる取組を継続しています。
- (2) 授業の終わりに振り返りの時間を設け学習内容の理解や疑問点など確認します。

#### ☆3 繰り返し学習等による知識・技能の確実な習得

- (1) 授業開始時に前時の復習を行い、まとまった単元終了時に問題演習や小テストを行います。

#### ■4 「学び合いの活動」の充実

- (1) 日々の授業の中にグループでの話し合い活動、思考ツール(考えの流れを見るための道具)の活用など、生徒が主体となる活動を取り入れ「学び合いの活動」を行っています。

#### ■5 タブレットパソコン、電子黒板などICT機器の充実

- (1) 学習意欲の向上・「学び合いの活動」の効率化を図るICT機器を、学習のねらいに応じて活用しています。また、そのための研修も行っています。

### 授業以外の取組

#### ☆1 「時」「場」「礼」の生徒指導共通目標の推進(小学校との連携)

- (1) 「時を守り、場を清め、礼を正す」を教師と生徒の共通目標として常日頃から取り組んでいます。

#### ■2 朝読書の取り組み

- (1) 朝の会の前10分間を読書の時間とし、本に親しむ時間とするとともに、落ち着いて授業を受ける状態を作っています。

#### ■3 家庭学習の習慣化

- (1) 家庭学習の習慣化を図るため、宿題や課題プリントの提出、また家庭学習ノートを作成して自主的に取り組ませるなど、習慣化に向けた取り組みを行っています。

#### ☆4 小テスト・補習の取り組み

- (1) 週1回小テストを行い、基本的な内容の理解の定着を図ります。
- (2) 定期テスト前には教科の質問や補習の時間を設定しています。

#### ☆5 加納中学校区の加納小、桶川東小との連携

- (1) 小学校に出向いてのあいさつ運動、小学6年生の中学校授業見学など、小・中連携を通じて「学力向上」に向けた実践をしています。

#### ☆6 校内掲示・展示の充実

- (1) 様々な活動の意欲を喚起したり、心に潤いをもたせるような生徒の優れた作品や取り組みの掲示・展示等を充実させたりしています。

☆…成果を上げたと考えられる取組、 ■…課題を解決するための取組

# 本校の学力向上プラン

## 令和3年度 学力向上全体計画

桶川市立加納中学校



### 改善の観点 (具体的な取組)

	I	II	III	IV	V	VI	VII
改善の観点	指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	新教育課程への対応の工夫	学習評価活動の工夫	校内研修計画の実施と工夫	学校評価・検証の計画と実施	家庭や地域社会との連携の工夫
取組の基本方針	基礎的・基本的な知識・技能の定着と主体的な学びの研究に努める。	新学習指導要領を視野に入れた教育課程の編成に努める。	先行実施される内容に重点を置いた指導計画の立案とその実施に努める。	各教科の評価規準を明確にし、適正な評価に努める。	具体的に取組む内容を明確にした上で、着実に実践し、検証を行う。	学校評価を生かし、根本的なことを重視すると共に、多面的で計画的、継続的な学校運営を目指す。	学校だよりや学年だより等の計画的、継続的な発行により本校の教育方針の啓発に努める。
課題解決のための具体的な取組	○1単位時間の授業における工夫改善 ○協働学習等を取り入れた授業改善の取組 ○補習の実施 ○長期休業明けの確認テストの実施 ○校内実力テスト(年2回)実施と分析 ○授業改善アンケートの実施	○研究主題「対話を通してよりよい生き方を考えることができる生徒の育成」特に主体的に学ぶ姿を想定した指導計画の立案 ○総合的な学習の時間の指導計画の見直し ○道徳科への対応(授業・評価等の研究)	○教科横断的な知識技能の活用を意識した指導計画の作成 ○学び合いの有効活用 ○体験活動を積極的に取り入れた授業の取組	○授業後の振り返りや自己評価の方法の工夫改善 ○定期テスト後の振り返りを活用した学習目標の設定	○PDCAサイクルに沿った授業改善の取組 ○「分析支援プログラム」を用いた取組の検証と課題の設定 ○先行研究の検証 ○学習指導を中心に、他分野の実践研修の積極的実施	○学校評価の2回実施 ○保護者アンケートの実施 ○生徒の学校生活に関する意識調査の実施 ○学校運営協議会 ○県学力学習状況調査等の分析	○成績表、通知表の見直しと改善 ○定期テスト後の振り返り ○宿題の出し方の工夫と家庭学習ノートを活用した家庭学習習慣の形成
関連する行事等	・ 朝読書と朝学習 ・ 学力向上推進担当訪問での研究、公開授業 ・ 校内授業見学	・ シラバス (加中の学び) ・ ホームページ	・ シラバス (加中の学び) ・ ホームページ	・ シラバス (加中の学び) ・ ホームページ	・ 学力向上推進担当訪問での研究、公開授業 ・ 校内授業参観週間	・ PTA総会 ・ コミュニティスクール ・ 学年、学級懇談 ・ 学校公開 ・ 授業参観 ・ 学校だより	・ 学校公開 ・ 授業参観 ・ PTA総会 ・ 家庭訪問、三者面談 ・ 学校、学年だより ・ 学校ボランティア

### 各教科科学力向上プラン

## 保護者・地域の皆様へ

本校では、昨年度から「対話を通してよりよい生き方を考えることができる生徒の育成」を目指して道徳授業、特に「話し合い活動」に力を入れて取り組んできました。その成果は質問紙調査にも表れており、「話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝える」項目で、県、全国を上回る91.6%の生徒が「はい」と解答しています。また、学力テストの結果を見ても、全国学力・学習状況調査では、国語の「話すこと・聞くこと」領域で正答率が県、全国を上回りました。これは、「相手の考えを最後まで聞こう」「自分の考えをしっかりと伝えよう」という意識が、多くの生徒に根付いてきた結果と思われれます。『主体的・対話的で深い学び』の実現に向け、今後も授業改善に取り組んでいきます。

また、学習環境を整えるための取り組みとして、授業開始3分前には着席し、チャイムで授業を始める「チャイムあいさつ」を励行しています。学習規律が整うことで授業にも集中でき、話し合いの活動における学習効果が高まります。さらに、本校でも、より授業に集中しやすくなるよう教室前面の掲示物を必要最小限にとどめ、不必要な情報が入らないようにして、より授業に集中しやすくなるよう教室内掲示を工夫したり、カバンなどの用具はロッカーにしまい、机には掛けないようにする、清掃活動を徹底して行うなど、学習環境が整った状態で授業を行うように努めてまいりました。

さらに、学校で習った学習内容を定着させ、それぞれの思考・判断に生かせるようにするには、家庭学習が欠かせません。さらなる学力の向上のために、宿題だけでなく個々の課題に合わせた学習の支援をお願いいたします。

